

浜松市の平成21年度の現年度分収納率(年度内に納税された割合)はおよそ98%。つまり、滞納者の背景にはおよそ98%の税を納める市民の存在があります。残る2%の滞納者をそのままにしていくと税負担の公平性が損なわれるだけでなく、市民のモラルハザード(倫理の欠如)につながるおそれがあり



200万5000円で落札された2.01カラットのダイヤの指輪

このように一部で危険も伴う業務をやり遂げる上で、職員たちのモチベーション(動機付

「その後、1時間くらい窓ガラス越しに怒鳴られ、怖い思いをされました。現在では警察とも連携し、こうした行為に組織として毅然と対応しています」。これだけ体を張った業務は、市役所の中でもそうはありません。

「確かに、私たちの仕事は大きな苦勞を伴いますが、「自分たちがやらなければ誰がやるんだ」という意識を持って取り組んでいます。折れないハートとしっかりとした態度で、業務を遂行していきたいと思っています」。

滞納削減に向けた強い使命感、そして高いモチベーションを胸に、債権回収対策課の厳しい戦いは、これからも続きます。

折れないハートで 毅然と業務遂行

落札され、売却金は市税に充当されました。担当者「公売にかけた差し押さえ財産が高値で売れたときは、その分、滞納額を減らすことができるのでほっとしますね」と語ります。

まず、2ページ上の写真をご覧ください。市の財務部債権回収対策課による搜索の現場です。同課の職員は、市税滞納者の自宅を訪れ、宝石や貴金属などの財産を差し押さえる債権回収の、実行部隊です。

徴収の現場は 危険と隣り合わせ

債権回収、実行部隊の活躍

「平成22年度からは、市でも搜索を積極的に行うようになりました。搜索は令状を必要とせず、裁判所を通さずに実施できる行政調査の一種。22年度には、およそ30件の搜索を行いました」。

一方で、徴収の際には危険な目に会うことも決して少なくありません。「過去には、ある滞納者の自宅へ交渉に行った際、相手に包丁を突き付けられて、「帰れ！」と脅されたことがあります。また別のケースでは滞納者が薬物中毒患者だったこともありました。このときはまともな会話が全くできず、追い掛け回された末、やむなく車の中に避難したんです」と担当者は厳しい表情で語ります。

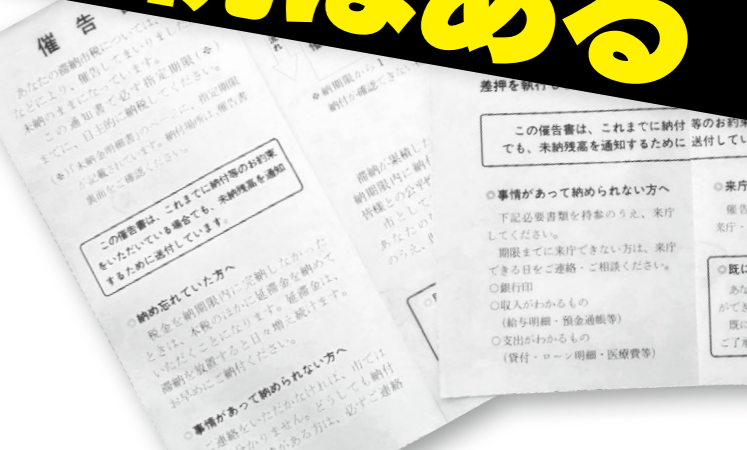
平成21年度の市税収入は1282億円と、一般会計総額2841億円の45・1%を占め、市の財政運営で大きな役割を担っています。しかし、平成19年度からの所得税(国税)と個人住民税(地方税)の税率変更、いわゆる「税源移譲」に伴う個人市民税の負担増加、平成20年度後半からの世界同時不況により、市税の収納率は低下の一途をたどっています。それだけに、税の滞納を少しでも減らし、市の財政を支えることで市民サービスの向上につなげたいという思いがあるのです。



For Whom Is There a Tax 特集

誰がために税はある

皆さんは平成21年度末の市税滞納額がどれくらいか、ご存じでしょうか。その額は81億7000万円。これだけの金額が正しく納税されていれば、保育所や老人介護施設を増やすなど、市民へのサービスをもっと充実させることが可能です。税は国民の義務として、市民みんなが公平に負担すべきもの。「税の公平性」を保つため、浜松市が取り組んでいる施策をご紹介します。





納税意識啓発用ポスター

「早期発見・早期治療」文書による催告などを無視し、差し押さえや公売にまで至る滞納の病巣は深く、結果的に、大手術が必要になります。これを防ぐためには早期の対策が欠かせないといえるでしょう。

一方、浜松市にはこの地域ならではの税の問題もあります。それは、近年、外国人の収納率が低下していること。外国人の収納率は平成20年度には50%でしたが、平成21年度は43・8%へと低下しました。主な原因は、平成20年後半からの世界同時不況で地元製造業が大きな打撃を受け、工場で働く外国人の雇用環境が非常に厳しくなっていること。これについて、納税推進課外国人対策グループの職員は次のように語ります。

新アクションプランの基本的な考え方は「早期の対策で滞納を断つ」ということ。それを着実に実行し、成果へと結び付けていく上で最も大切なのは「現場の力」です。市の財務部には、3ページで紹介した債権回収担当者のほか、税に関するさまざまな業務に携わる職員たち

### トータルなケアで滞納の再発を防止

ちがいます。それぞれの現場の声に耳を傾けてみましょう。「私たちの仕事は医療に例えられることがあります。自分たちが医師だとすれば滞納者は患者。医師は患者の病状をしっかりと診断し、滞納という病が重症化しないよう、早期に対処しなければなりません」。そう語るのは、納税推進課徴収対策グループの職員です。「まず、滞納者が『なぜ滞納したのか?』という原因を見極めることが大切

例えば借金が原因であれば、弁護士と相談して利息の過払いなどを是正するよう指導し、本人のせいだけが原因であれば、高級車などを手放すようアドバイスするわけです。そうしたトータルなケアを心掛け、目に見えない部分まで指導して、再発を防止しなければなりません。初期の段階でしっかりと治療することが、将来の計画的な納税につながっていくべき担当事としてうれしく思います」

「浜松の外国人は、大半が派遣などの非正規社員。個人市民税は、毎月の給与から天引きされる特別徴収ではなく、普通徴収がほとんどです。外国人にとつて年4回の普通徴収は負担感が大きく、払わない人が従来から多くいました。このため、納税推進課では21年度から外国人対策グループを設置。毎年6月の税額決定時には外国語の説明書を添付した通知書を送り、年4回の納税がでない人に対しては、通訳を介して納付の相談に応じているんです」

これを受けて、市は昨年9月、新たなプランをスタート。このプランでは、個人市民税の普通徴収(※コラム参照)の収納対策の重点化、特別徴収(※コラム参照)の拡大などによる現年課税分の収納率向上や、法的処分を中心とした滞

- 口座振替の推進
- 外国人収納対策の推進
- 民間委託業務の業績向上
- 差し押さえを中心とした滞納整理の徹底
- 「搜索」や「公売」などの徹底した滞納整理による債権処理の推進
- 静岡地方税滞納整理機構の有効活用

※「普通徴収」とは、本人が金融機関などで直接納める方法  
※「特別徴収」とは、いわゆる「給与天引き」のこと。事業主が毎月の給与を従業員に支払う際に、市民税を給与から天引きし、まとめて納入します。法律により、事業主には特別徴収することが義務づけられています。

### 新アクションプランで収納率向上など目指す

さて、ここで浜松市の税の概要について、説明することにしてしまおう。市が課税している税は個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税など10種類あり、先にも触れたように総額で1282億円(平成21年度実績)の収入額となっています。

納整理を厳正に行うことによる累積滞納額の削減により、平成24年度末までに現年課税分収納率98・5%、累積滞納額69億円以下を目標としています。

### 新アクションプランの主な取り組み

## 滞納という病を重症化させないために

	平成20年度		平成21年度		増減		
	収入額(百万円)	収納率(%)	収入額(百万円)	収納率(%)	収入額(百万円)	収納率(%)	
市民税	個人	49,584	96.73	49,526	96.72	△58	△0.01
	法人	16,214	99.70	8,221	99.37	△7,993	△0.33
固定資産税	53,392	98.69	52,801	98.70	△591	0.01	
軽自動車税	1,379	97.49	1,421	97.39	42	△0.10	
市たばこ税	4,525	100.00	4,234	100.00	△291	0.00	
事業所税	3,845	99.17	3,846	99.53	1	0.36	
都市計画税	6,484	98.68	6,504	98.70	20	0.02	
入湯税ほか	127	95.22	108	94.08	△19	△1.14	
現年課税分計	135,550	98.12	126,661	98.01	△8,889	△0.11	
滞納繰越分	1,363	18.16	1,496	18.39	133	0.23	
合計	136,913	94.00	128,157	93.29	△8,756	△0.71	

図●税収の状況

# 特別徴収拡大へ民官が協力

## リーマンショック後に 激変した税の環境

新アクションプランを軸に、市税の収  
納率向上、滞納削減を進めていく上で、  
もう一つ大切なこと。それは、民間と行  
政がしっかりとスクラムを組んで、幅広  
い取り組みを進めていくことです。その  
具体例といえるのは、平成19年に浜松  
商工会議所を中心に設立された「浜松

納税意識啓発市民会議」。市民会議の  
御室健一郎会長(浜松商工会議所会頭、  
浜松信用金庫理事)は次のように語  
ります。

「平成20年9月のいわゆるリーマン  
ショック以降、浜松市の税をめぐる環境  
は大きく変化しました。世界的な不況  
で浜松のものづくり産業は大きな打撃  
を受け、企業収益の激減、雇用の悪化な  
どにより、浜松市の財政は収入面で非  
常に厳しくなっていると思います。一方



地域の産業構造の変化に警鐘を鳴らす御室健一郎会長

## 外国人研修生の 特別徴収をサポート

収納率の向上、滞納削減を図る上で  
非常に有効な手段となる特別徴収。こ  
の特別徴収を日本人だけではなく、外  
国人にも適用し、成果を挙げている会  
社があります。東区半田町に本社を置  
くオートバイ部品メーカーのサクラ工業  
株式会社です。

「当社では、現在、外国人技能実習制  
度により、インドネシア子会社から25人  
の研修生を受け入れており、全員に特別  
徴収を適用しています。研修生たちは皆  
若く、日本の税制をよく知りませんので、  
総務課に専門のスタッフを置き、正しい  
納税をサポートしているんです」。そう語  
るのは同社総務

し、技能実習を行う2年目からは従業  
員扱いとなり、給料に税や雇用保険料  
がかかります(制度改正前の運用)。総  
務課の吉川千香子さんは語ります。

「研修生の特別徴収で難しいのは、彼  
らが帰国した後の税金の取り扱い。例  
えば今年4月に研修を終え、帰国する  
人がいるとします。個人市民税は、今  
年1月1日まで浜松市に在住していれ  
ば、その翌日に浜松を離れても前年分  
の所得に課税されますので、4月に帰  
国する研修生にも1年分の納税の義務  
があります。しかし、日本とインドネシ  
アでは収入に大きな差があり、帰国後に  
日本の税金を払うのはものすごく大き  
な負担。このため、研修生の合意を得  
た上で、浜松で働いているうちに帰国後  
の税金を少しずつ、会社でプールするよ



インドネシア人研修生の作業現場

で、合併や政令指定都市への移行で市  
の行政コストは膨らんでおり、このまま  
では将来的に大幅な財政悪化を招くお  
それもあると、強い危機感を持っていま  
す」

市民会議設立の背景にあるのは、い  
わゆる「地方分権」「地域主権」の考え方。  
全てを国任せにするのではなく、地方が  
それぞれ独自色を出しながら、市民が  
主体となって地域発展を目指していこ  
うという動きです。その前提になるの  
は地域における財源の確保。将来にわ  
たつて浜松市の財政基盤が健全性を  
保っているよう「自分たちの地域は自  
分たちで支える」という心意気で市民会  
議は発足しました。会議の主な活動は  
①市民に納税の大切さを知ってもらう  
ための啓発②特別徴収事業所の拡大③  
外国人の適切納税の推進の3点。こ  
うした活動により、市の健全な財政基  
盤づくりを民間の立場から支援してい  
るのです。

「こうした中、市民生活や企業活動と  
税の関わりについて言えるのは、みんな  
がしっかりと正しく税を納めることに尽き  
ると思います。税は、市の歳入の4割  
以上を占める根幹を成すもので、徴収  
対策を進めることは、地味ながら本当  
に大事なことです。浜松納税意識啓発市民  
会議ができたことは、一つのきっかけと  
して有効だったと思います。市が徴収



対策を積極的かつ着実に進めているこ  
とを理解して、われわれ民間も、啓発な  
どに向けた取り組みを行うようになり  
ました」

市民会議では特別徴収の適用を積極  
的に進めるよう働きかけています。「市  
民会議の設立当時、特別徴収を実施し  
ている事業所数は、1万7000社のう  
ちおよそ7000社でしたが、現在は  
1万3000社を超えるまでになったと  
聞いています。今後、市は残りの全事業  
所に特別徴収を広げることです  
ので、こうした目標の達成に向け、私た  
ちもバックアップしていきたいと考えて  
います」。御室会長は、そのように力強  
く抱負を語っています。



研修生の特別徴収について語る、左から吉川さん、田中部長、ルクマンさん

うにしているんです」  
こうした税の複雑な仕組みを研修生  
に説明し、理解してもらうことは容易で  
はありません。そこで登場するのが強  
力な助っ人。インドネシア人の総務課  
スタッフ、ルクマン・ヌルハキム・トリブ  
さんです。

シオンには、ルクマンさんのような存在  
が不可欠。特別徴収の適用でも、大き  
な役割を果たしているのは言うまでも  
ありません。今後も、外国人を含めた  
特別徴収をきちんと進められるよう、会  
社として努力していきたい」と田中部長  
は強調しています。

静岡大学情

報学部大学院  
を修了し、日本  
語も堪能なルク  
マンさんは、研  
修生の税金や  
年金の手続き  
から、日常生活  
の指導まで幅  
広く担当。「研  
修生が夜中に  
お腹が痛いとい  
うので、夜間救  
急に連れて行っ  
たこともありま  
す(笑)。いわば  
みんなのお父さ  
んのような存在  
ですね」と笑顔  
で話します。

「宗教、言葉、  
生活習慣の異  
なる研修生と  
のコミュニケー

# 浜松市の税



ここが訊きたい

これからの「地方分権」「地域主権」を進めていくために、最も重要なことは地域における財源の確保です。地方税の役割がますます重要になっていく中で「浜松市の税」はどうあるべきか、山崎泰啓副市長に聞きました。



山崎泰啓 副市長

## 早期の滞納処理を進めることは滞納者自身にとって大切

ため、文書催告による早期の呼び出しから滞納処分まで、効率的かつシステムマッチクに対応できるよう、職員と民間委託の役割分担の明確化を図っています。電話催告や訪問催告の民間委託は、国の通知を参考にしながら全国に先駆けて実施し、早期の滞納整理を推進しています。

市は滞納に對する毅然とした対応と姿勢を明確にし、差し押さえなど法的処分を中心とした滞納整理を進めています。徴収困難なものは、滞納整理の専門機関である静岡地方税滞納整理機構に移管し、徹底した財産調査と滞納処分を確実に実行しています。また、研修などの実施により、徴収職員のスキルとモチベーション向上を図っています。

### 市税滞納削減新アクションプラン

～早期の対策で滞納を断つ！～

現年分  
収納率の  
向上

累積  
滞納額の  
削減

収納体制の  
整備

↓

税金+税の公正性を確保！

現年分収納率98.50%

累積滞納額69億円以下

平成24年度末目標値

**Q** 市や市民のための「税」とは？

**A** 福祉、教育、環境、まちづくりなど、日常生活と関連の深い行政サービスの財源は、主に「地域社会の会費」と言われますが、私たちの日々の暮らしは市民一人ひとりが納める税で成り立っているわけです。少子高齢化が進み、社会保障制度を支えている地方自治体の役割がますます増大する中で、社会保障など地方行政を安定的に運営するため、さらには地域主権改革を進めていく観点からも、住民自治を支える根幹としての地方税の重要性が増してきています。

**Q** 新アクションプランの全体像は？

**A** 市の租税債権保全や、納期内に納付している大多数の市民との公平性確保のためにも、滞納初期段階での催告業務の充実や、法令で定められた差し押さえをはじめとした取り組みを進めます。市税の収納率向上と滞納額削減を図ることは、非常に重要なことです。市は、収納率向上と累積滞納額削減に向けたアクションプランを昨年9月に改定し、差し

**Q** 特別徴収の拡大への取り組みは？

**A** 事業主が特別徴収することは法律で義務付けられたものですから、このことを事業主の皆さんに正しく理解していただくこ

押しさえなささまざまな手段を活用しつつ、積極的な徴収対策に取り組んでいます。

ぜひ市民の皆さんにお伝えしたいのは、新アクションプランに沿って早期に滞納処理を進めることは、何より滞納者自身にとって非常に大切なことだということです。滞納金額が膨らむ前に、早めに私たちに相談いただくことで、さまざまな事情や資力の見極めなどを行い、それに合ったきめ細かい対応が可能となるのです。

搜索や公売などは法令に基づく手法の一つであり、それらを適切に行うことで、結果として滞納者の早期の生活再建をお手伝いすることにもなります。

この他、市の補助金などの申請に当たっては、税を滞納していないことを条件としたり、市の入札参加に際しては特別徴収を実施している事業者に限ったりすることなどにより、正直者が報われる仕組みづくりを進めています。

**Q** 収納体制整備の具体策は？

**A** 毎年、滞納整理方針を策定、組織として進捗管理を徹底し、滞納対策の早期着手に向けた柔軟な人員配置などを行っています。限られた資源で最大の効果を発揮する

とが何より大切だと考えています。特別徴収となることで、従業員の納め忘れがなくなりますし、1回当たりの納税額が少なくなることで、毎月の生活設計が立てやすくなるなどのメリットがあります。

また、個人市民税は毎月の税額が決まっているので、所得税の源泉徴収と比べ、毎月の給与の額に応じて、税額を計算する煩わしさがありません。なお、平成24年度からは県下一斉に特別徴収していない全事業主を特別徴収義務者に指定していく予定です。本市では、10人以上の従業員がいる事業主に対して、平成23年度から指定していきます。

**Q** 市民の協力を得るための考え方は？

**A** 税金は、市民福祉の向上に寄与するためにいただいているものですから、その目的にふさわしい使い方をしなければなりません。差し押さえなどの厳しい手段を取らざるを得ない時もあり、税金の大切さや、無駄使いに対する戒めの気持ちを持っています。市ではご負担いただいた税金を元に、さまざまな政策を進めています。市民の皆さんに理解していただけるよう、その使い道をしっかりと説明し、大切に使用させていただきたいと思えます。